



8 小 経 第 6 1 5 号
令 和 8 年 6 月 4 日

小牧市上下水道事業経営審議会
会長 萩原 聡 央 様

小牧市水道事業

小牧市長 天 野 正 基



小牧市水道事業の適正な料金収入について（諮問）

本市の水道事業の健全な事業運営のため、適正な料金収入について、貴
審議会の意見を求めます。

諮 問 内 容

小牧市の水道は、昭和 30 年から昭和 38 年にかけて建設された小規模簡易水道がその始まりです。その後、昭和 42 年に水道事業を創設して以来、市勢の発展とともに増大してきた水需要に応えるため、3 期にわたる拡張事業を実施してまいりました。現在の水道普及率は 99.9% と市民生活にとって欠かせないライフラインとなっています。

しかし、新型コロナウイルス感染症や能登半島地震の発生、世界的な物価上昇やエネルギー価格の高騰など、水道事業を取り巻く環境は大きく変化しています。また、近年、全国で水道管の漏水事故などが多発しており、老朽管対策は喫緊の課題となっております。

人口減少に伴う料金収入の減少や、老朽化が進む施設の維持管理、更新及び耐震化費用の増加などに対応し、健全な事業運営を将来にわたり安定的に継続していくためには、適正な水道料金の設定により経営基盤の強化を図ることが必要となります。

つきましては、本市の水道事業の健全な事業運営のため、適正な料金収入について諮問します。